

(特定機能病院の承認要件のあり方)

- **特定機能病院の承認を行うにあたって、例えば、以下の項目について特定機能病院の承認要件の中に位置づけたり、あるいは取り組みの一層の強化を求めているかどうかとの指摘があり、検討が必要である。**  
なお、検討にあたっては、急性期の病院に一般的に求められる事項との関係について留意する必要がある。
  - (1) 難治性疾患への対応
  - (2) 標榜診療科目及び診療内容の充実
  - (3) **医療連携、特に退院調整機能、退院時支援機能の構築**
  - (4) **特段の医療安全体制の構築**
  - (5) 高度な治験の実施
  - (6) 後期研修のプログラム
  - (7) **特段の診療記録の整備**

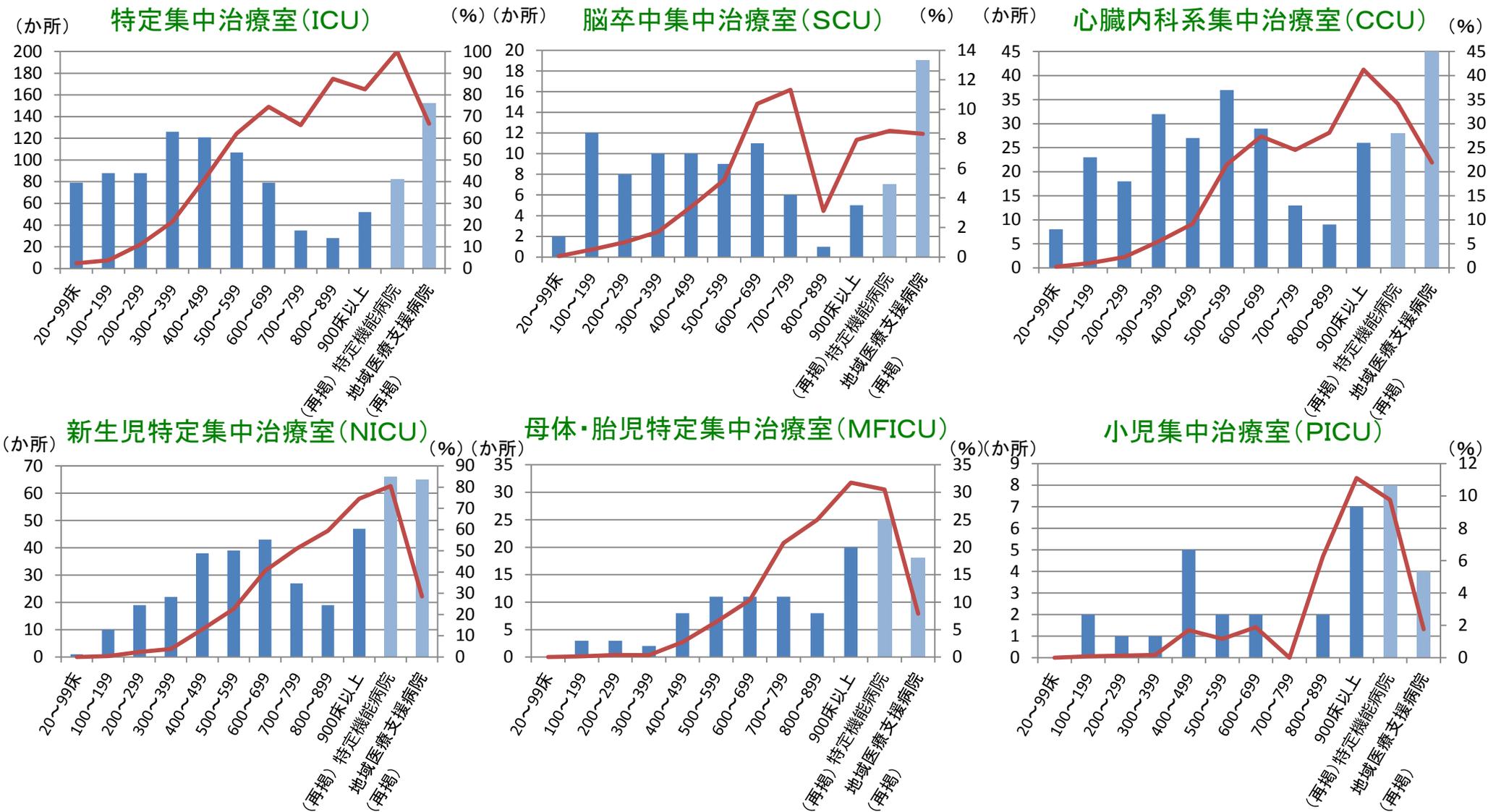
(地域医療支援病院の承認要件のあり方)

- **地域における医療連携体制の構築を図るため、例えば、以下の項目を地域医療支援病院の承認要件の中に位置づけたり、あるいは取り組みの一層の強化を求めているかどうかとの指摘があり、検討が必要である。**  
なお、検討にあたっては、地域医療支援病院が地域で果たすべき機能・役割の多様性等を踏まえて行う必要があり、また、急性期の病院に一般的に求められる事項との関係について留意する必要がある。
  - (1) 地域の医師確保対策への協力
  - (2) 地域の在宅療養支援診療所、中小病院等との連携
  - (3) 地域連携パスへの取り組み
  - (4) **医療連携、特に退院調整機能、退院時支援機能の構築**
  - (5) 精神科救急・合併症対応等地域の精神科医療等の支援なお、地域医療支援病院においても平均在院日数の短縮に取り組むべきとの指摘があったが、一方で、承認要件としては適切でないとの意見があった。

# 一般病院における特殊診療設備の状況(病床規模別)①

■ その特殊診療設備を有する病院数

— その規模(種別)の病院の中での割合



20~99床:3279病院 100~199床:2335病院 200~299床:795病院 300~399床:585病院 400~499床:294病院 500~599床:172病院  
 600~699床:106病院 700~799床:53病院 800~899床:32病院 900床以上~:63病院 特定機能病院:82病院 地域医療支援病院:228病院

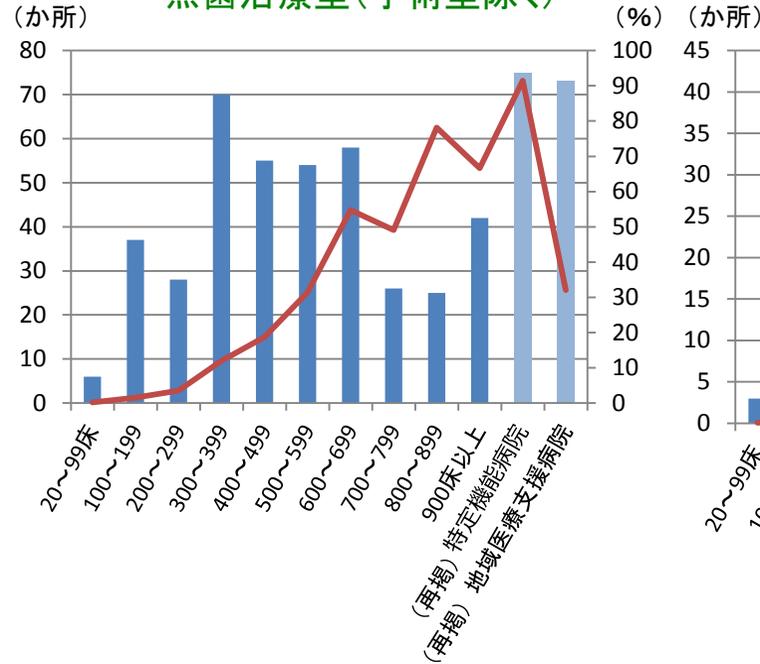
※ 特定機能病院の平均病床数は869.6床、地域医療支援病院の平均病床数は450.5床

平成20年医療施設調査に基づき作成

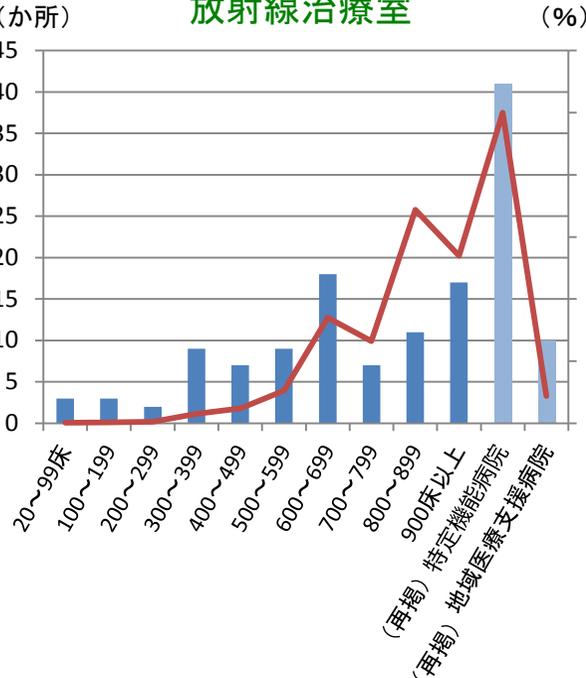
# 一般病院における特殊診療設備の状況(病床規模別)②

平成20年医療施設調査に基づき作成

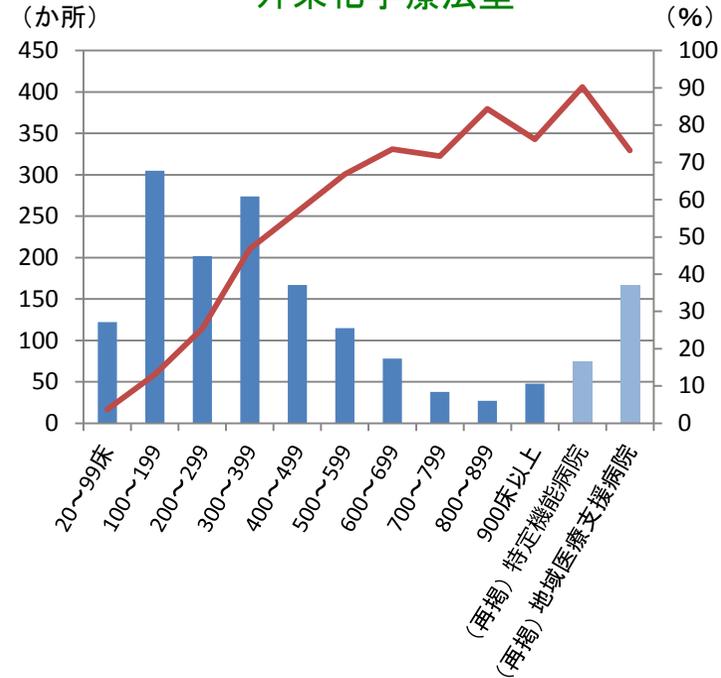
## 無菌治療室(手術室除く)



## 放射線治療室



## 外来化学療法室



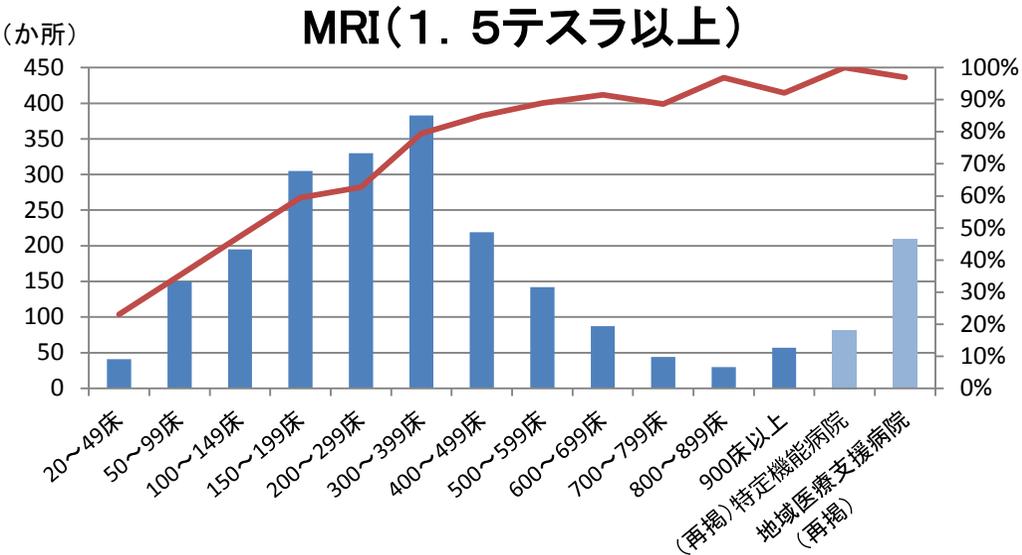
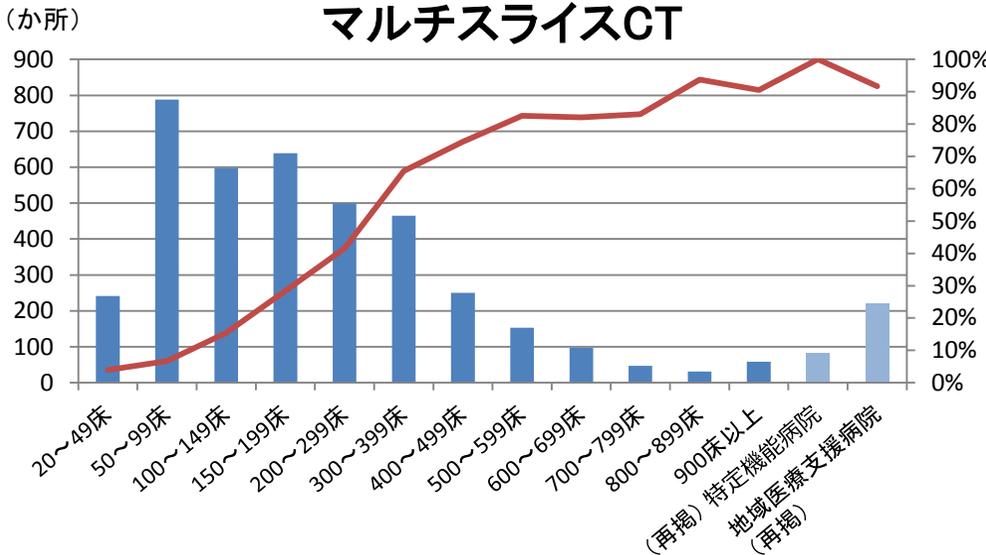
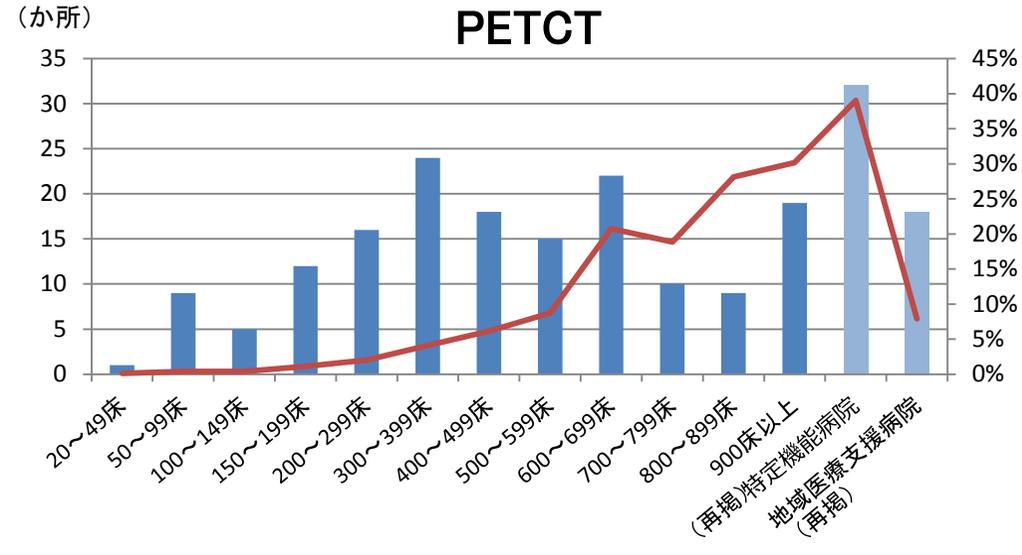
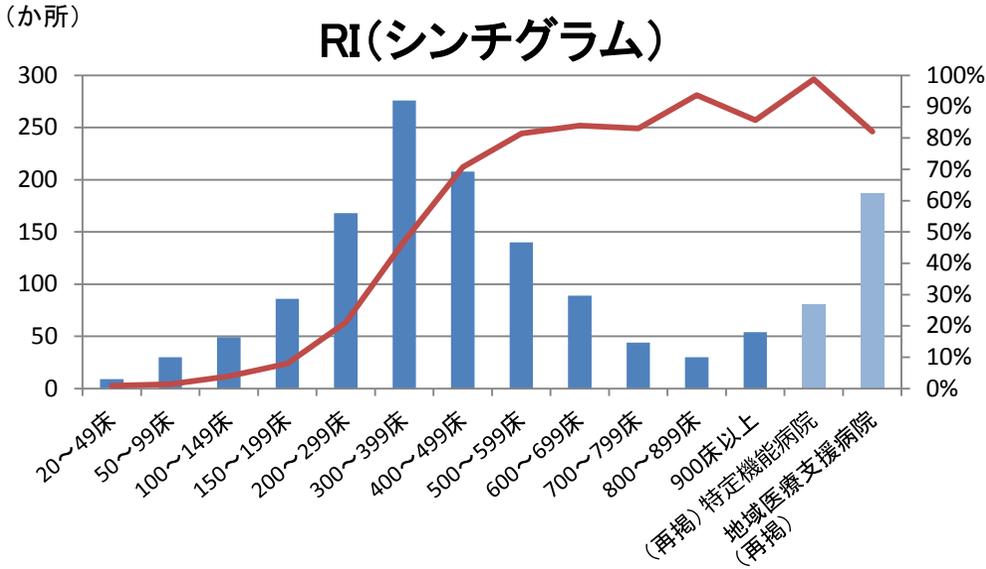
※ 医療施設調査(平成20年)における一般病院は、精神科病院、結核療養所以外の病院を指す。

※ 特定機能病院の平均病床数は869.6床、地域医療支援病院の平均病床数は450.5床

20~99床:3279病院 100~199床:2335病院 200~299床:795病院 300~399床:585病院 400~499床:294病院 500~599床:172病院  
600~699床:106病院 700~799床:53病院 800~899床:32病院 900床以上~:63病院 特定機能病院:82病院 地域医療支援病院:228病院

# 検査機器保有割合(病床規模別)

■ 当該機器を保有する病院数 ■ 当該規模(種別)の病院の中での割合



20~99床:3279病院 100~199床:2335病院 200~299床:795病院 300~399床:585病院 400~499床:294病院 500~599床:172病院  
 600~699床:106病院 700~799床:53病院 800~899床:32病院 900床以上~:63病院 特定機能病院:82病院 地域医療支援病院:228病院

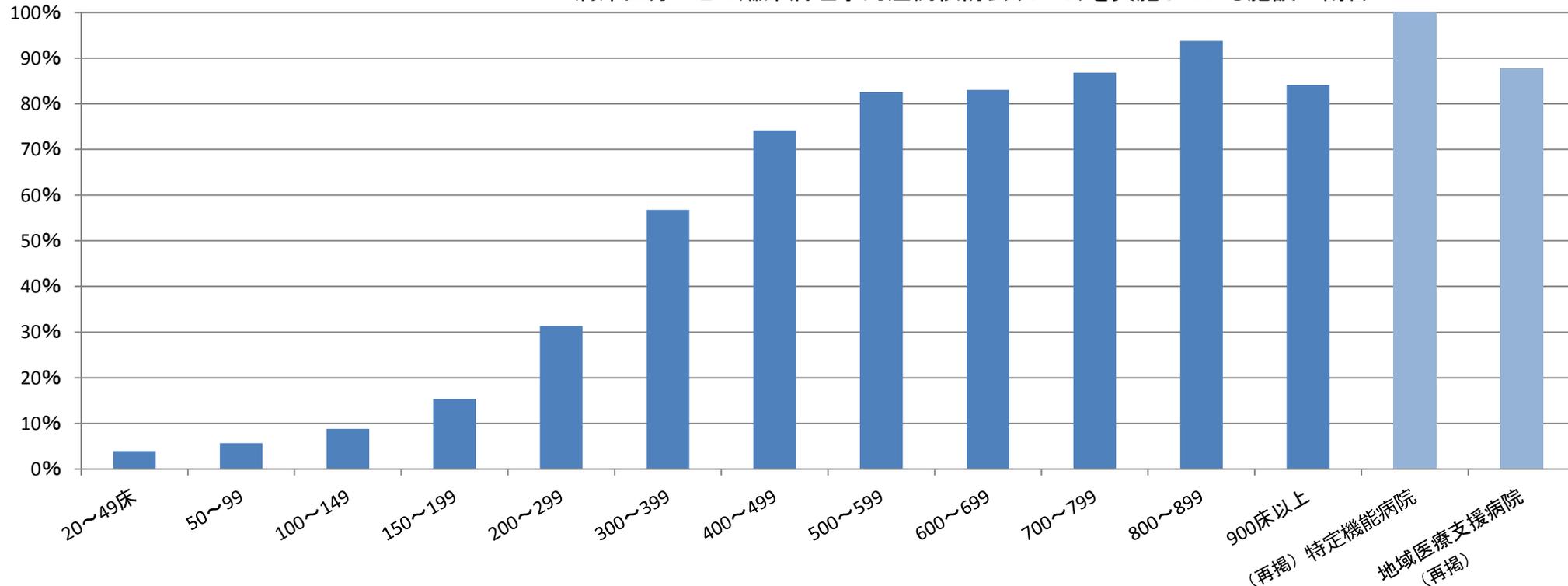
※ 特定機能病院の平均病床数は869.6床、地域医療支援病院の平均病床数は450.5床

出典:平成20年医療施設調査に基づき作成

# 臨床病理学的症例検討会（CPC）の実施状況（一般病院）

- 一般病院における臨床病理学的症例検討会（CPC）の実施状況をみると、病床規模が大きいほど実施している施設の割合が大きくなる。
- 特定機能病院についてみると、すべての病院がCPCを実施している。また、地域医療支援病院についてみると、90%弱の病院がCPCを実施している。

病床区分ごとの臨床病理学的症例検討会（CPC）を実施している施設の割合



20～99床:3279病院 100～199床:2335病院 200～299床:795病院 300～399床:585病院 400～499床:294病院 500～599床:172病院  
600～699床:106病院 700～799床:53病院 800～899床:32病院 900床以上～:63病院 特定機能病院:82病院 地域医療支援病院:228病院

※「CPC」とは、臨床医及び病理医を中心とする医療従事者の参加のもとに、臨床的・病理学的に重要な症例について、その症状・治療方針・治療結果・死因等を検討し、今後の診療に役立てることを目的として行われる会議（各診療科のみで行われるような症例検討会は除く。）

出典：平成20年医療施設調査に基づき作成

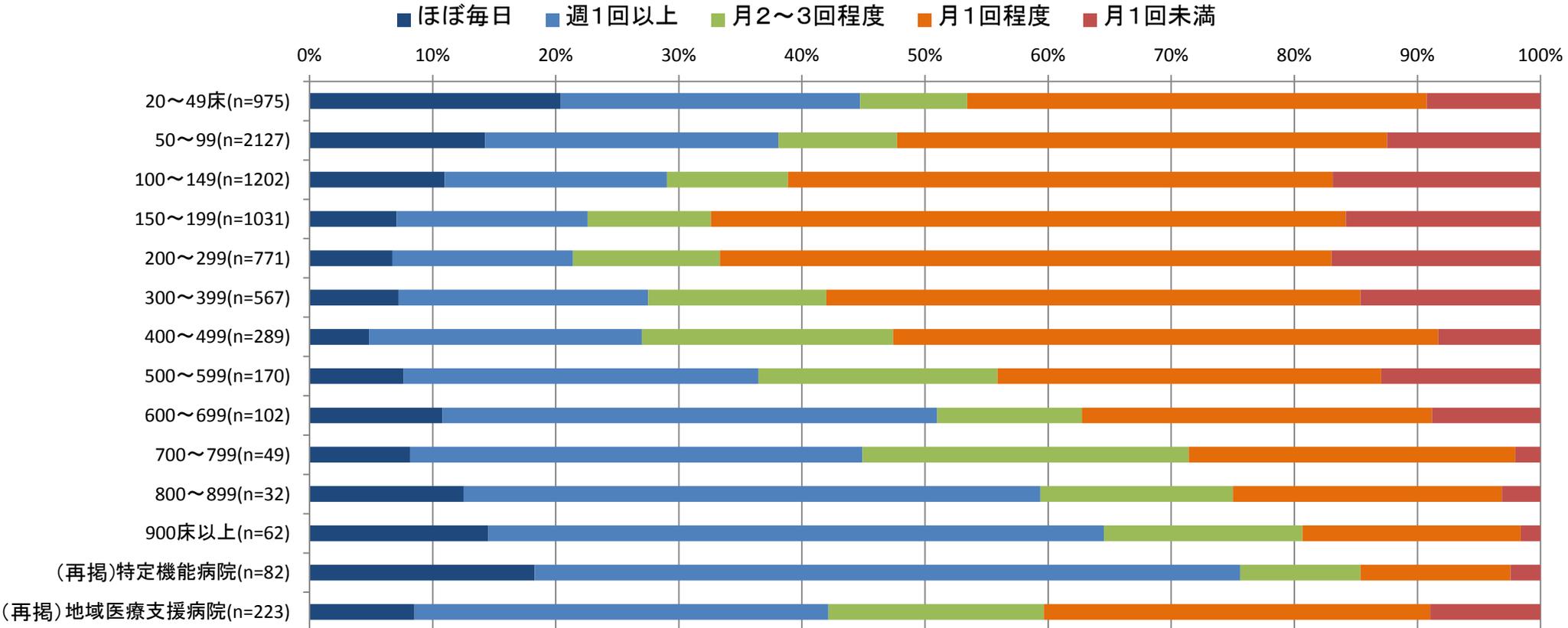
# 院内感染防止対策のための施設内回診の実施状況（一般病院）

- 院内感染防止対策のための施設内回診の実施状況とみると、病床規模が大きいほど頻繁に実施している。
- 特定機能病院についてみると、「ほぼ毎日」と「週1回以上」を合わせると約75%、「月2～3程度」まで合わせると約85%であった。

## 医療施設体系のあり方に関する検討会「これまでの議論を踏まえた整理」での指摘事項

- 特定機能病院の承認を行うにあたって、例えば、以下の項目について特定機能病院の承認要件の中に位置づけたり、あるいは取り組みの一層の強化を求めているなどの指摘があり、検討が必要である。

### （4）特段の医療安全体制の構築



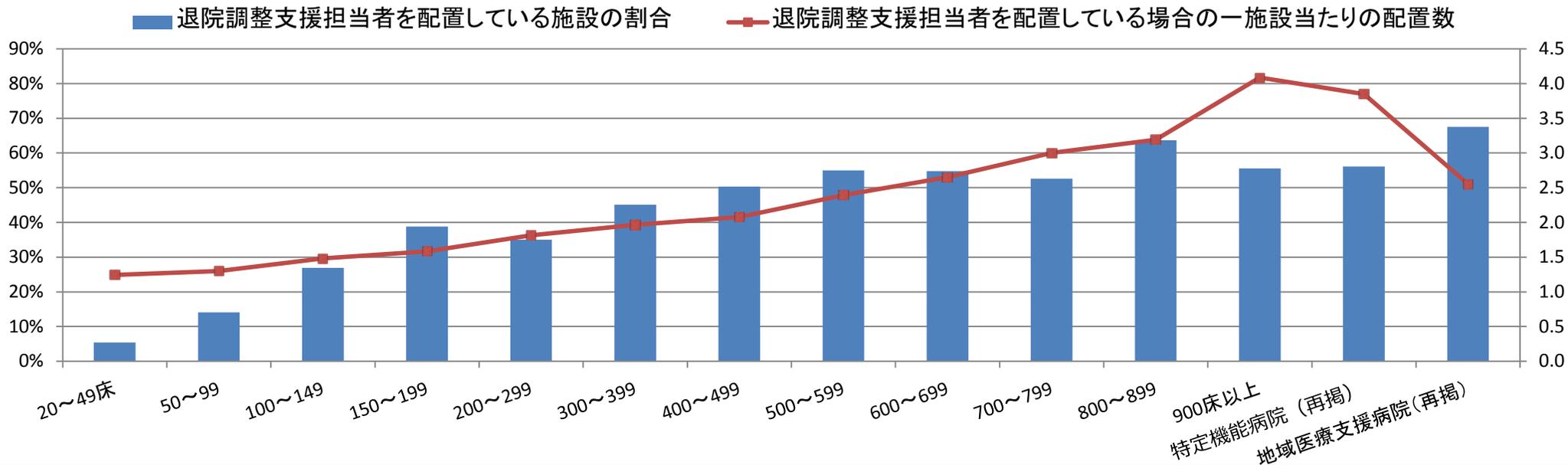
# 退院調整支援担当者の配置状況（一般病院）

- 退院調整支援担当者の配置状況とみると、病床規模が大きいほど配置している施設の割合は増加し、また、配置している場合の1施設当たりの配置数も増加する。
- 地域医療支援病院の70%弱が退院調整支援担当者を配置しており、配置している施設の割合は施設類型の中で最も大きい。

## 医療施設体系のあり方に関する検討会「これまでの議論を踏まえた整理」での指摘事項

○地域における医療連携体制の構築を図るため、例えば、以下の項目を地域医療支援病院の承認要件の中に位置づけたり、あるいは取り組みの一層の強化を求めていると指摘があり、検討が必要である。

### (4) 医療連携、特に退院調整機能、退院時支援機能の構築



20~99床:3279病院 100~199床:2335病院 200~299床:795病院 300~399床:585病院 400~499床:294病院 500~599床:172病院  
600~699床:106病院 700~799床:53病院 800~899床:32病院 900床以上~:63病院 特定機能病院:82病院 地域医療支援病院:228病院

※「退院調整支援担当者」とは、「基本診療科の施設基準等」(平成20年厚生労働省告示第62号)に規定する「退院調整加算」の施設基準を満たしているもの(厚生局への届出の有無は問わない。)のことをいう。

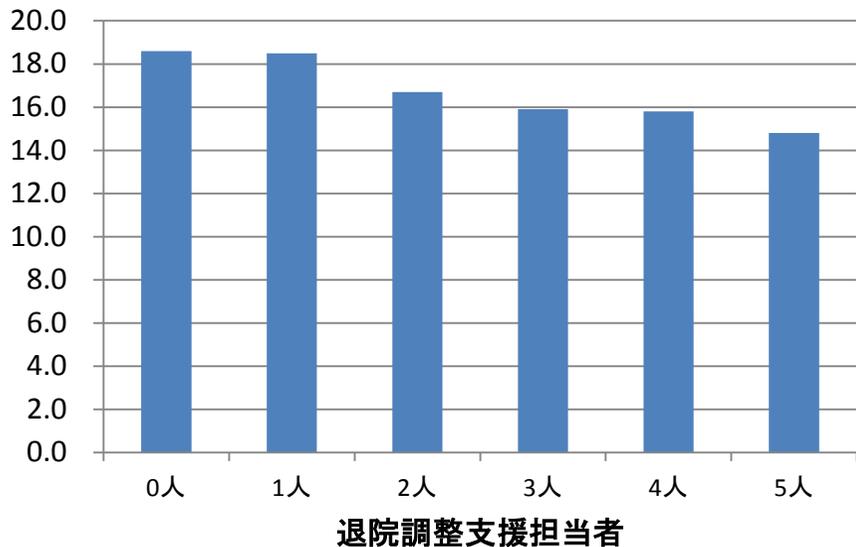
具体的には、病院において以下の基準を満たしている場合に、退院調整支援担当者として計上される。

- ・入院患者の退院調整に関する部門が設置されていること
- ・退院調整に関する部門に退院調整に関して十分な経験を有する専従の看護師又は社会福祉士が1名以上配置されていること

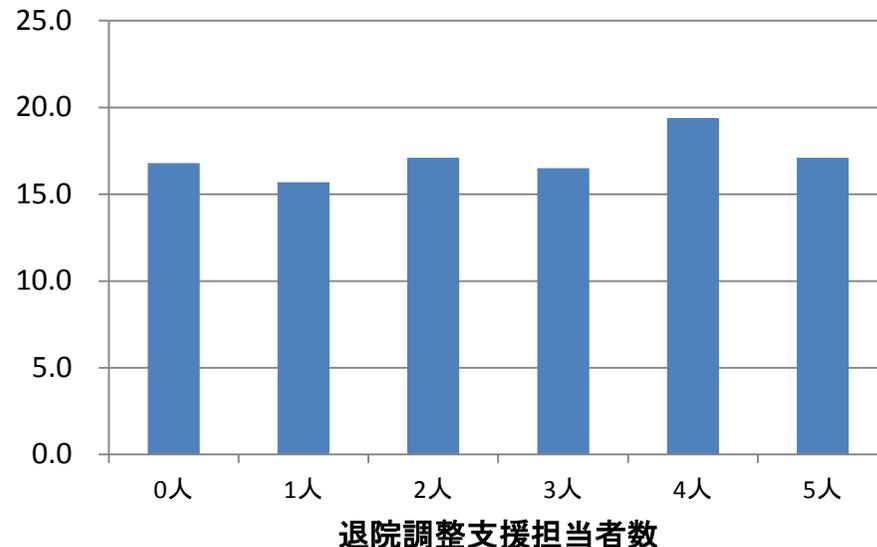
(出典)平成20年医療施設調査に基づき作成

# 退院調整支援担当者の配置状況と平均在院日数

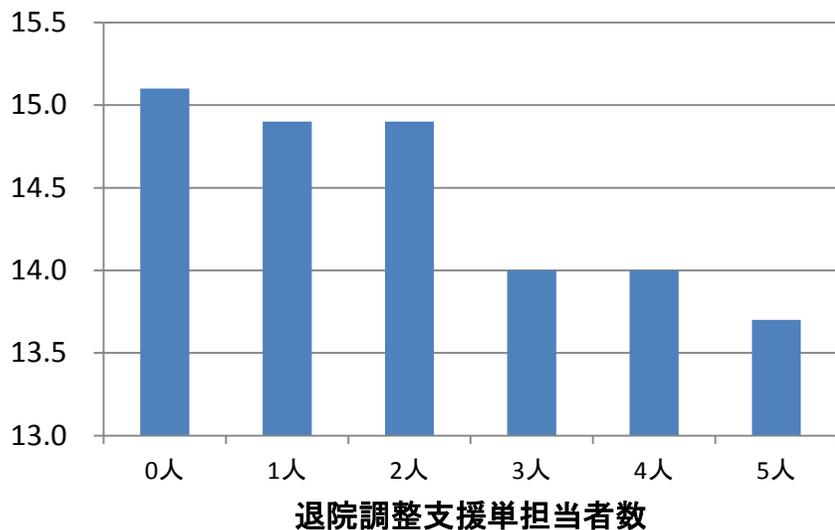
## ＜一般病床のみを有する病院＞



## ＜特定機能病院＞



## ＜地域医療支援病院＞



※退院調整支援担当者の配置については、「基本診療科の施設基準等」(平成20年厚生労働省告示第62号)に規定する「退院調整加算」の施設基準を満たしている場合に「有」と回答。(厚生局への届出の有無は問わない。)

※病院において上記退院調整加算を算定するための施設基準は以下のとおり。

- ・入院患者の退院調整に関する部門が設置されていること
- ・退院調整に関する部門に退院調整に関して十分な経験を有する専従の看護師又は社会福祉士が1名以上配置されていること

※「0人」は、配置の有無、人数について回答がなかった病院を含む。

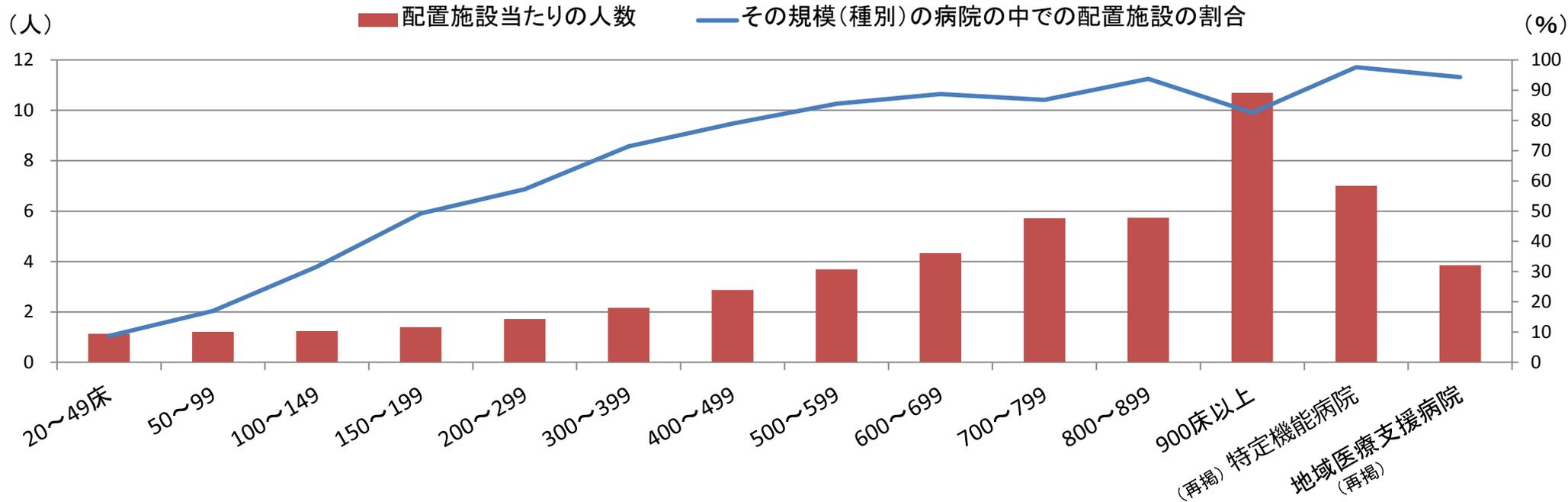
# 診療録管理専任従事者の配置状況（一般病院）

- 診療録管理専任従事者の配置状況をみると、病床規模が大きいほど配置している施設の割合は大きくなり、また配置している場合の1施設当たりの配置数も多くなる。
- 特定機能病院、地域医療支援病院のいずれについても、90%超の病院で診療録管理専任従事者を配置している。

## 医療施設体系のあり方に関する検討会「これまでの議論を踏まえた整理」での指摘事項

- 特定機能病院の承認を行うにあたって、例えば、以下の項目について特定機能病院の承認要件の中に位置づけたり、あるいは取り組みの一層の強化を求めているなどの指摘があり、検討が必要である。

### (7) 特段の診療記録の整備



20~99床:3279病院 100~199床:2335病院 200~299床:795病院 300~399床:585病院 400~499床:294病院 500~599床:172病院  
600~699床:106病院 700~799床:53病院 800~899床:32病院 900床以上~:63病院 特定機能病院:82病院 地域医療支援病院:228病院

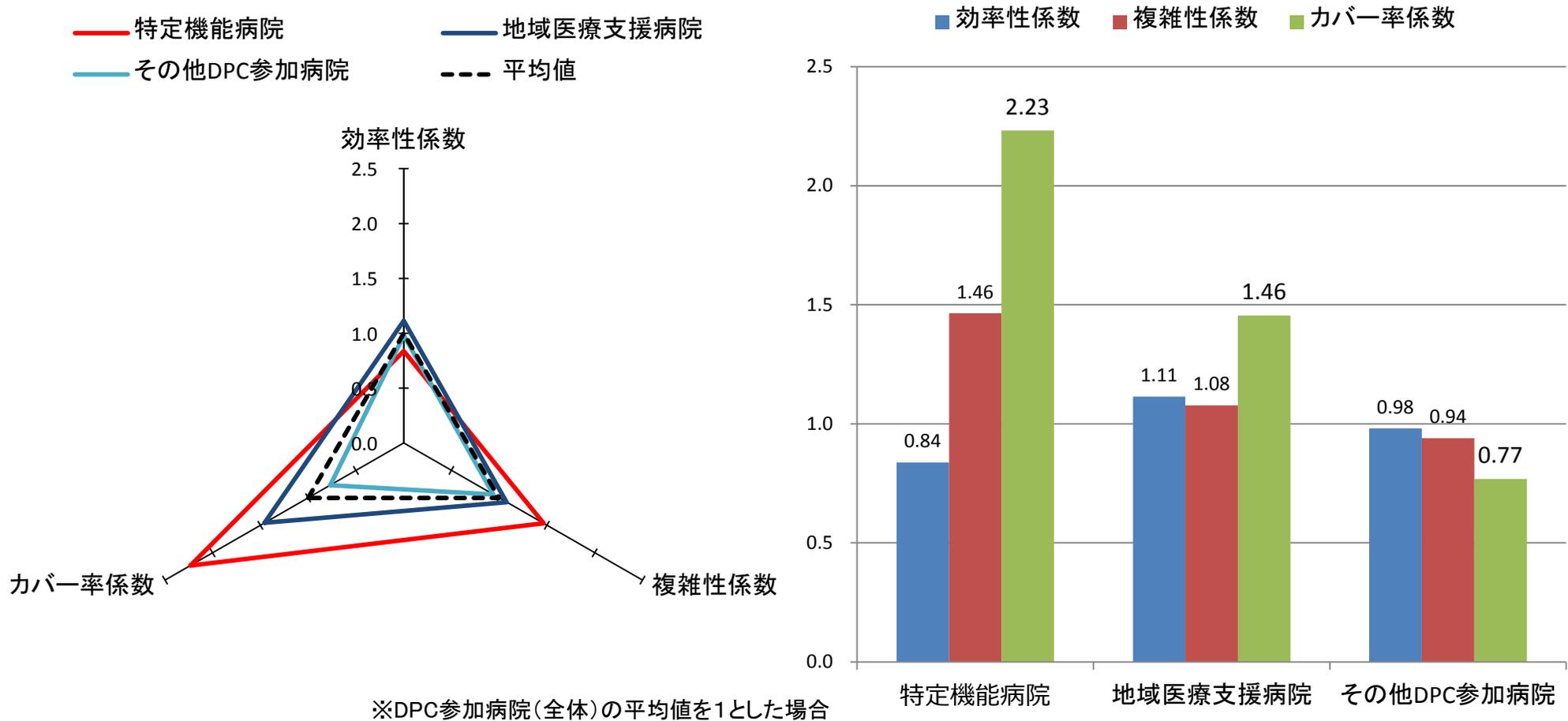
※「診療録管理専任従事者」とは、診療録の整理、疾病分類、疾病統計の作成及び患者台帳の作成等に専門的に従事している者をいい、資格の有無にかかわらず計上する。(受付事務、診療報酬請求事務を主としている職員は除く。)

出典:平成20年医療施設調査に基づき作成

<診療実績について>

# DPC参加病院の機能評価係数Ⅱの比較

- DPC参加病院を特定機能病院、地域医療支援病院、その他のDPC参加病院に分類し、機能評価係数Ⅱのうち効率性係数、複雑性係数、カバー率係数についてDPC参加病院全体の平均と比較したところ、特定機能病院は複雑性係数とカバー率係数が平均を大きく上回っている。
- 一方で、地域医療支援病院は、3つの係数すべてにおいて平均を上回っている。



厚生労働大臣が指定する病院の病棟並びに厚生労働大臣が定める病院、調整係数及び機能評価係数を定める件  
 (平成22年厚生労働省告示第98号)を基に作成

# 機能評価係数Ⅱの評価方法

名称	評価の考え方	評価方法
効率性指数	平均在院日数の変動に伴う病棟業務量の増減について、患者の疾病構造の違いを補正した在院日数の相対値により評価	<p>[指数]=[全DPC対象病院の平均在院日数]／[当該医療機関の患者構成が、全DPC対象病院と同じと仮定した場合の平均在院日数]</p> <p>※当該医療機関において、10症例(10か月)以上ある診断群分類のみを計算対象とする。</p> <p>※包括評価の対象となっている診断群分類のみを計算対象とする。</p>
複雑性指数	対象病院における診療の複雑さについて、当該病院における一入院あたり包括点数の相対値により評価	<p>[指数]=[当該医療機関の包括点数(一入院あたり)を、診断群分類ごとに全病院の平均包括点数に置き換えた点数]／[全病院の平均一入院あたり包括点数]</p> <p>※当該医療機関において、10症例(10か月)以上ある診断群分類のみを計算対象とする。</p> <p>※包括評価の対象となっている診断群分類のみを計算対象とする。</p>
カバー率指数	様々な疾患に対応できる総合的な体制について、当該病院で算定している診断群分類の広がり(種類の多さ)により評価	<p>[指数]=[当該医療機関で一定症例数以上算定している診断群分類数]／[全診断群分類数]</p> <p>※当該医療機関において、10症例(10か月)以上ある診断群分類のみを計算対象とする。</p> <p>※すべて(包括評価の対象・対象外の両方を含む)の診断群分類を計算対象とする。</p>

# DPC参加病院の機能評価係数Ⅱの比較

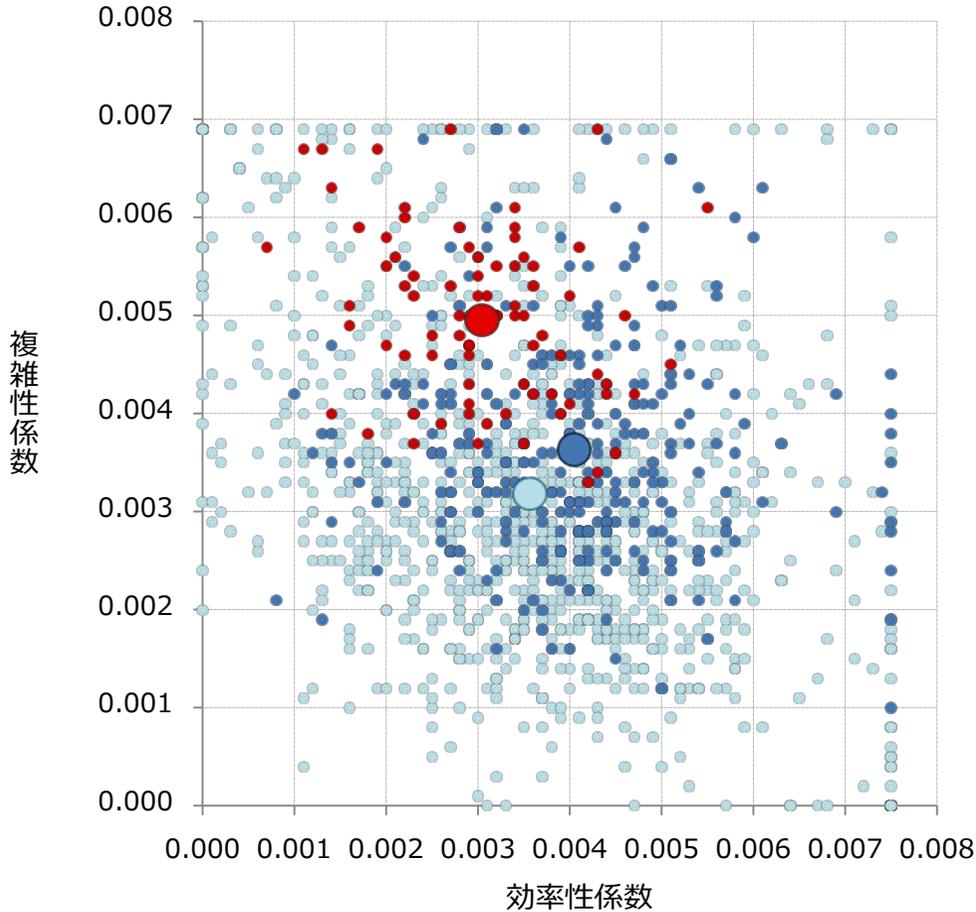
～効率性係数・複雑性指数・カバー率指数～

● その他DPC参加病院

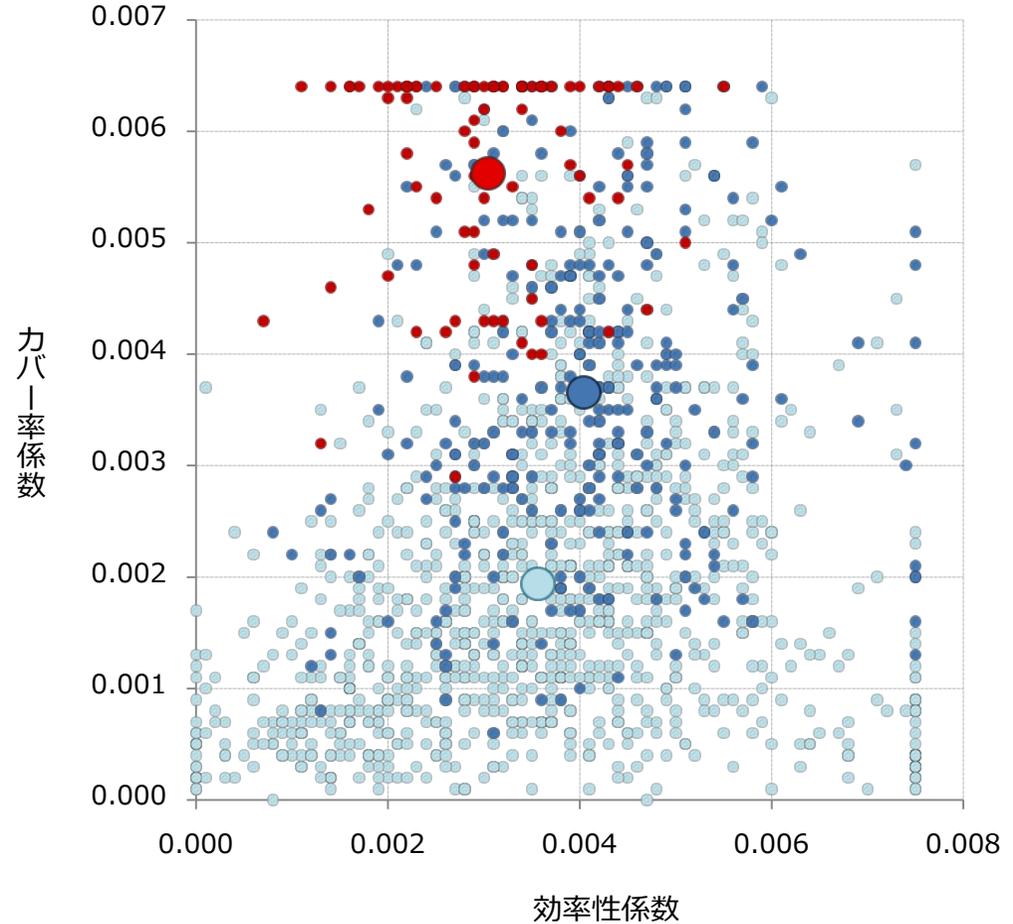
● 地域医療支援病院

● 特定機能病院

＜効率性係数と複雑性係数の関係＞



＜効率性係数とカバー率係数の関係＞



※ 図中の太マーカーは、それぞれの病院群の平均値を示す。

厚生労働大臣が指定する病院の病棟並びに厚生労働大臣が定める病院、調整係数及び機能評価係数を定める件  
(平成22年厚生労働省告示第98号)を基に作成

# DPC参加病院の機能評価係数Ⅱの比較

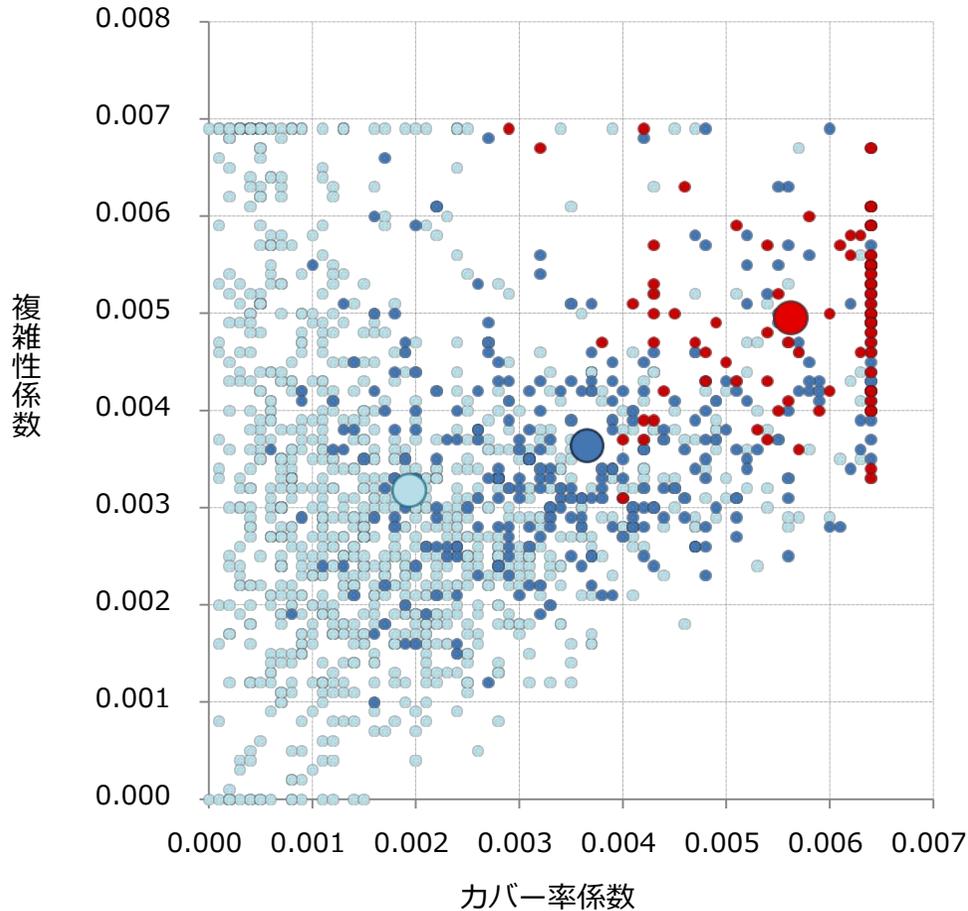
～効率性係数・複雑性指数・カバー率指数～

● その他DPC参加病院

● 地域医療支援病院

● 特定機能病院

<カバー率係数と複雑性係数の関係>



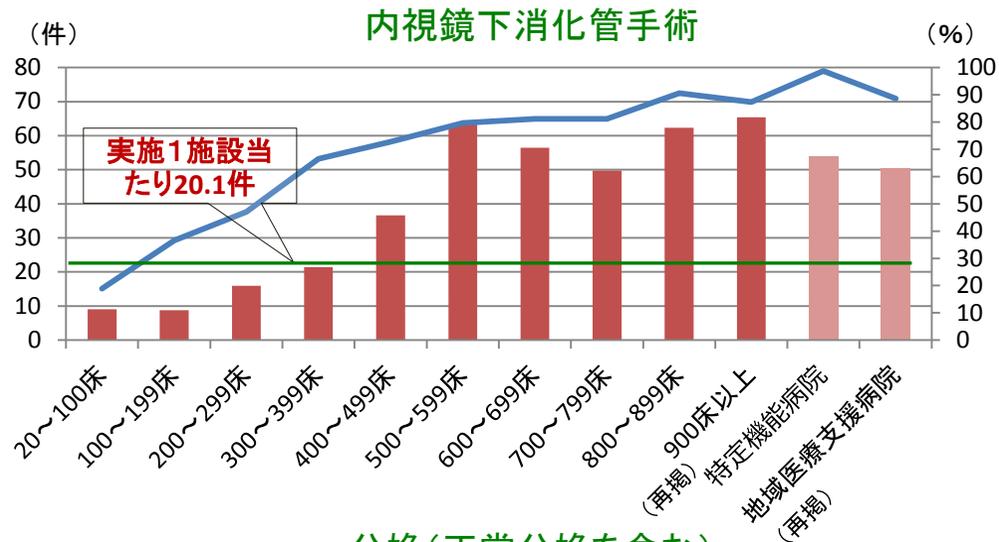
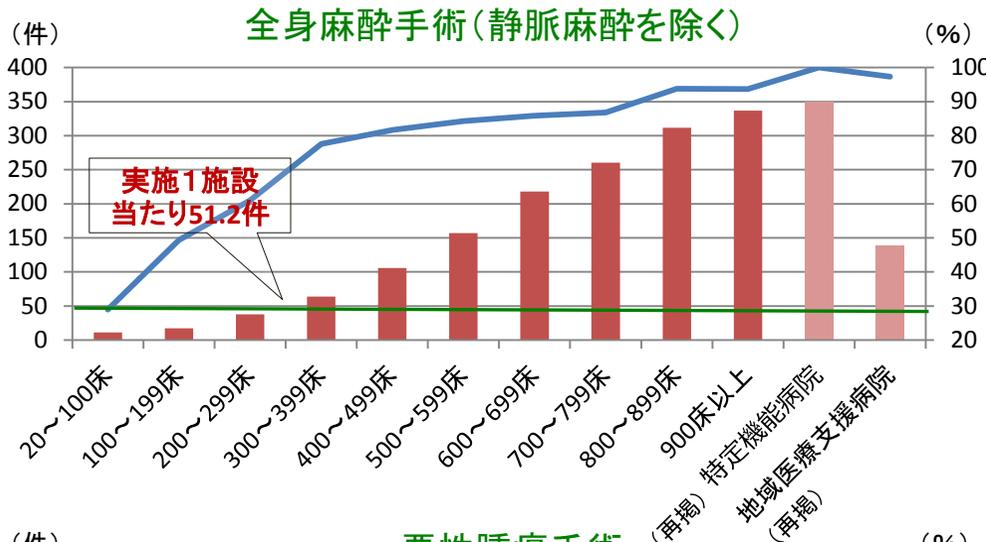
※ 図中の太マーカーは、それぞれの病院群の平均値を示す。

厚生労働大臣が指定する病院の病棟並びに厚生労働大臣が定める病院、調整係数及び機能評価係数を定める件  
(平成22年厚生労働省告示第98号)を基に作成

# 一般病院における手術等の状況(病床規模別)

■ 実施施設当たり件数(平成20年9月中)

— その規模(種別)の病院の中での実施施設の割合

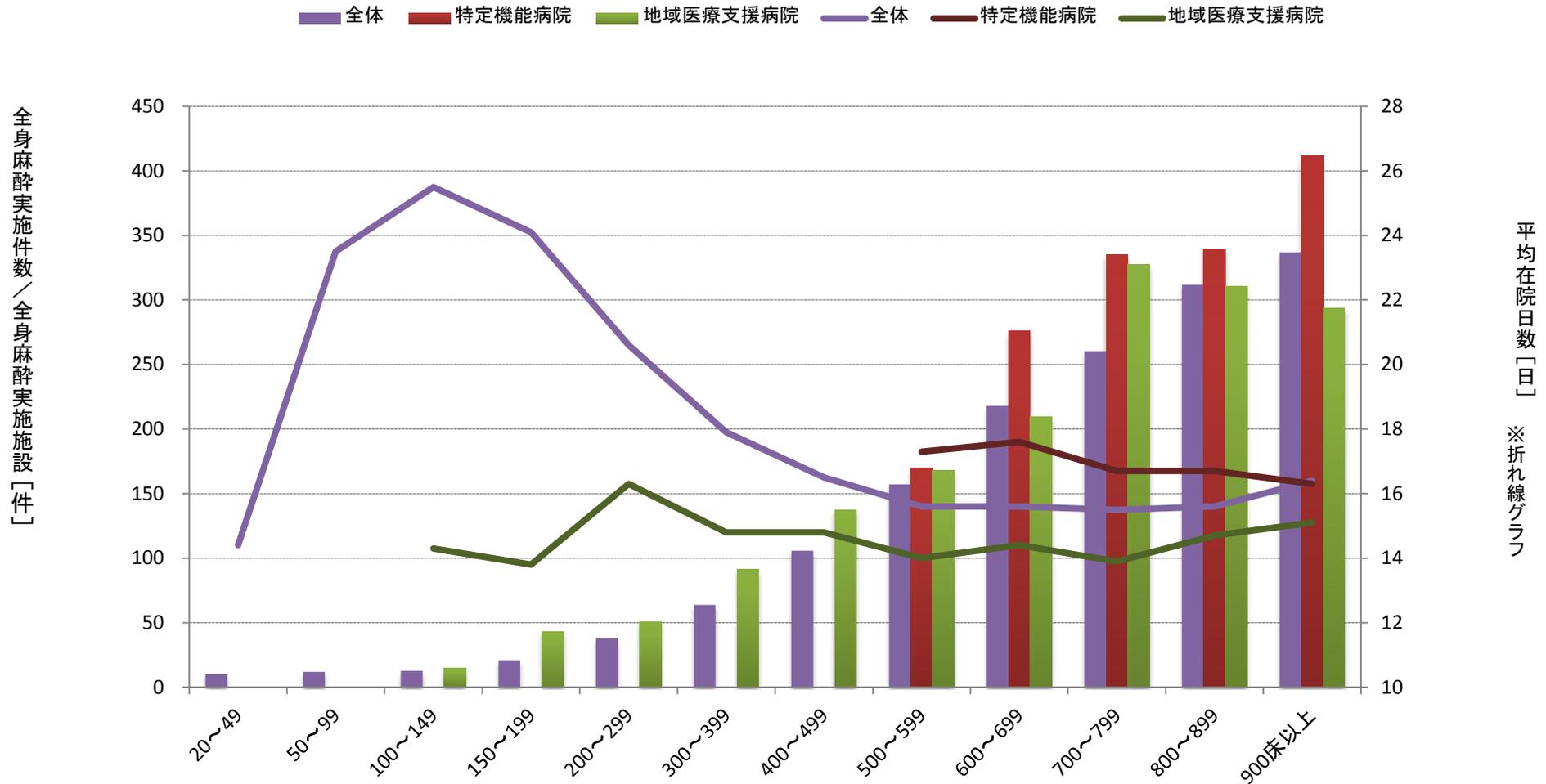


20~99床:3279病院 100~199床:2335病院 200~299床:795病院 300~399床:585病院 400~499床:294病院 500~599床:172病院  
600~699床:106病院 700~799床:53病院 800~899床:32病院 900床以上~:63病院 特定機能病院:82病院 地域医療支援病院:228病院

※ 特定機能病院の平均病床数は869.6床、地域医療支援病院の平均病床数は450.5床

平成20年医療施設調査に基づき作成

# 特定機能病院・地域医療支援病院における手術等の状況



出典：平成20年医療施設調査・平成20年病院報告（特別集計）

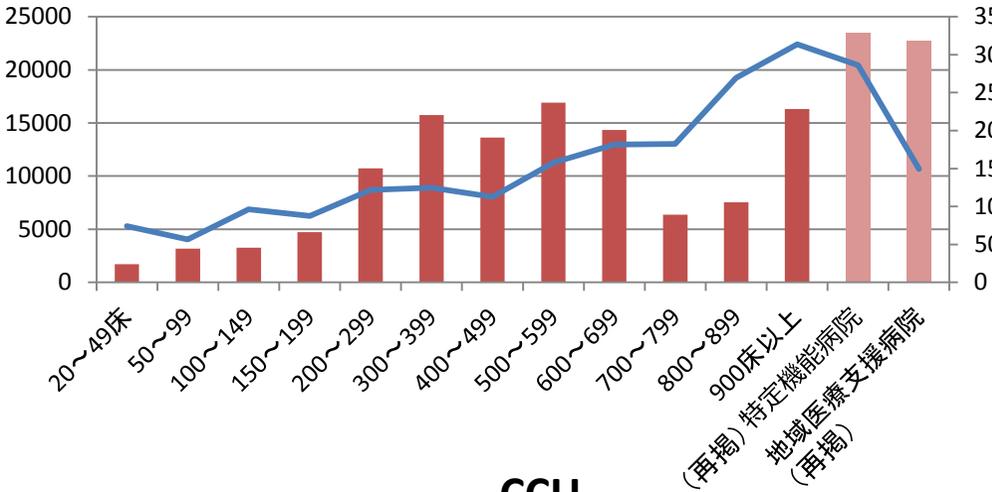
# 一般病院における特殊診療設備による診療実績①

■ 区分ごとの患者延数

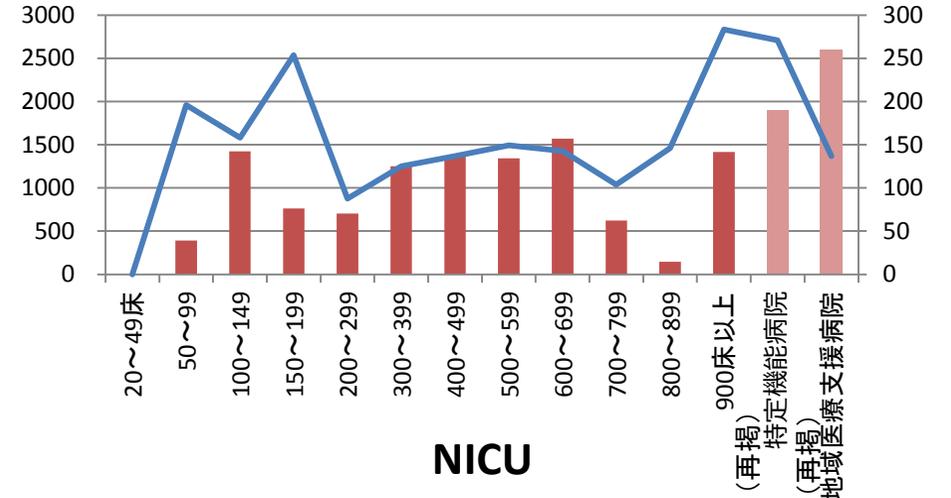
— 1施設当たり患者数

(単位:人)

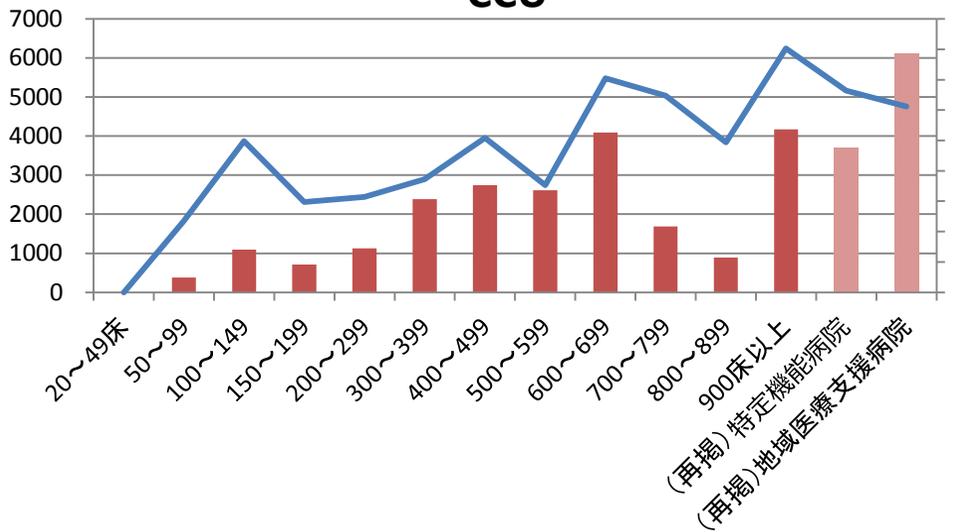
## ICU



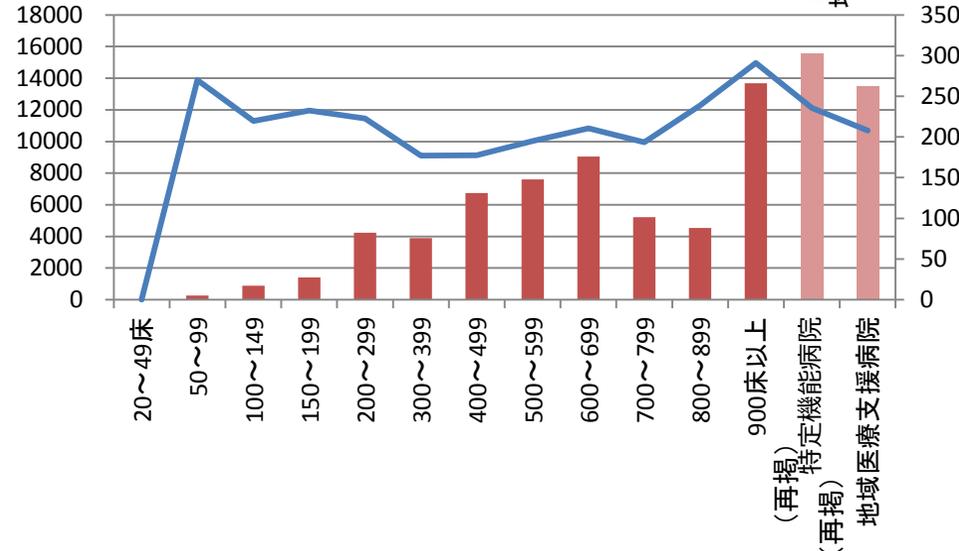
## SCU



## CCU



## NICU



20~99床:3279病院 100~199床:2335病院 200~299床:795病院 300~399床:585病院 400~499床:294病院 500~599床:172病院  
 600~699床:106病院 700~799床:53病院 800~899床:32病院 900床以上~:63病院 特定機能病院:82病院 地域医療支援病院:228病院

※患者数は平成20年9月中の値。

平成20年医療施設調査に基づき作成

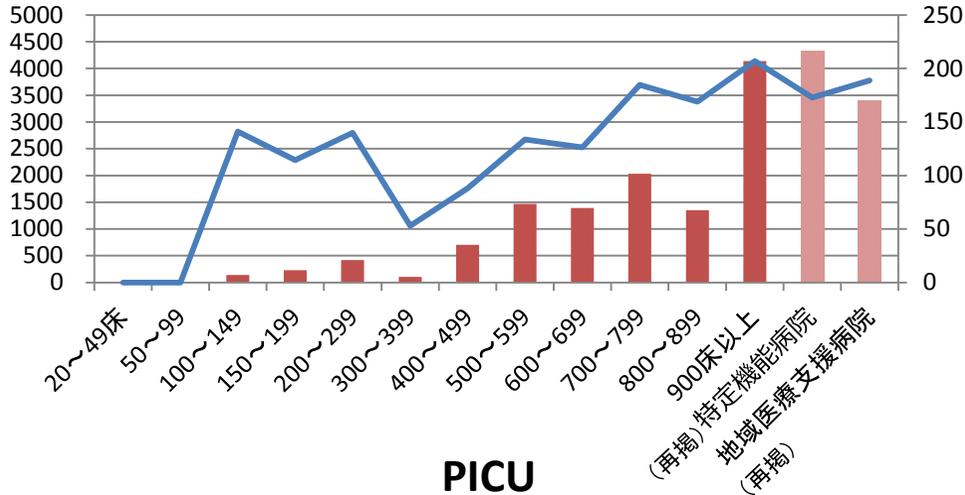
# 一般病院における特殊診療設備による診療実績②

■ 区分ごとの患者延数

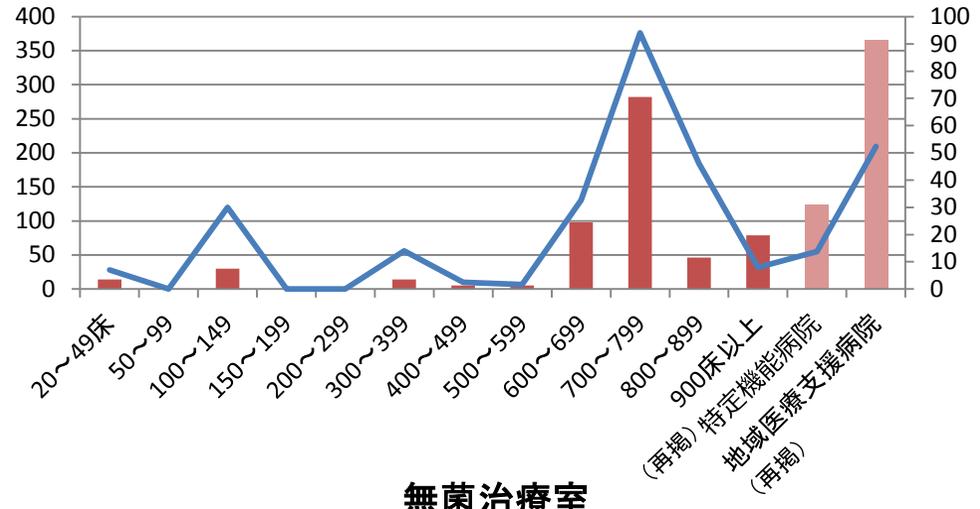
— 1施設当たり患者数

(単位:人)

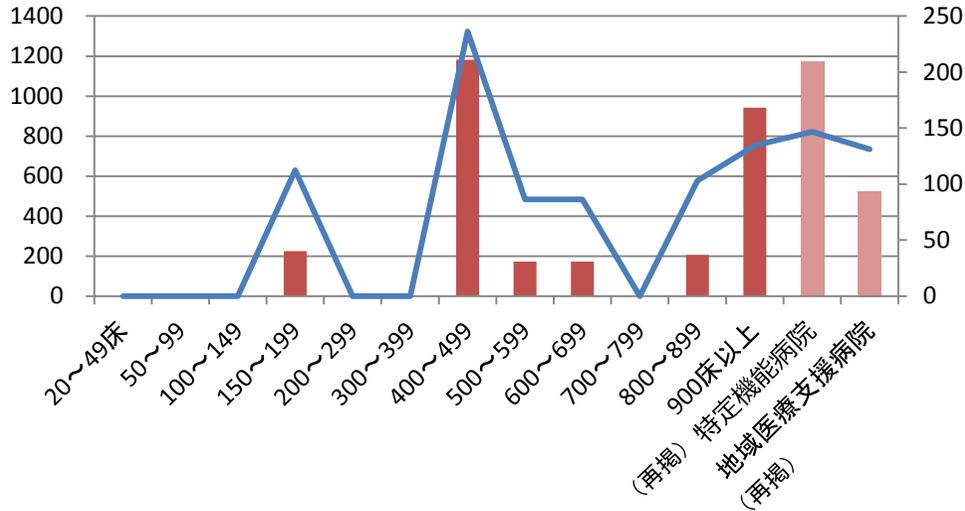
## MFICU



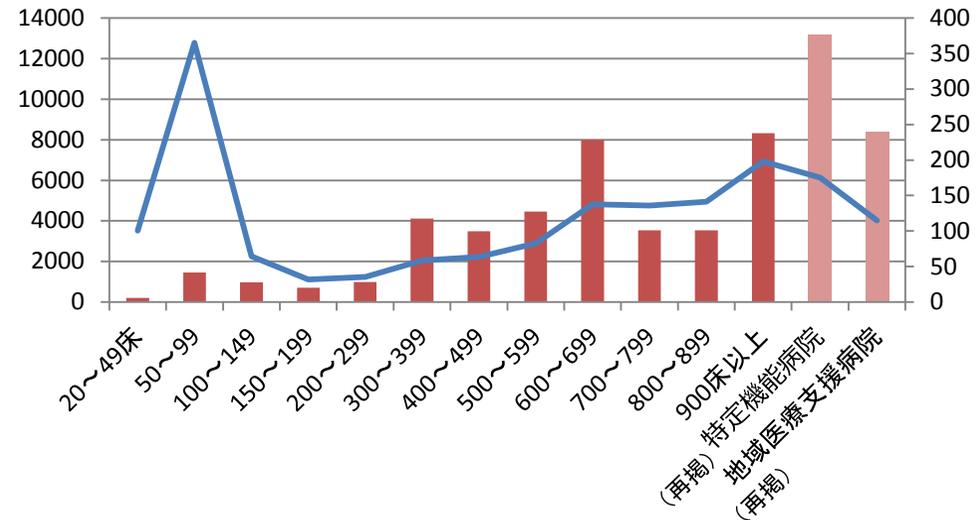
## 広範囲熱傷



## PICU



## 無菌治療室



20~99床:3279病院 100~199床:2335病院 200~299床:795病院 300~399床:585病院 400~499床:294病院 500~599床:172病院  
600~699床:106病院 700~799床:53病院 800~899床:32病院 900床以上~:63病院 特定機能病院:82病院 地域医療支援病院:228病院

※患者数は平成20年9月中の値。

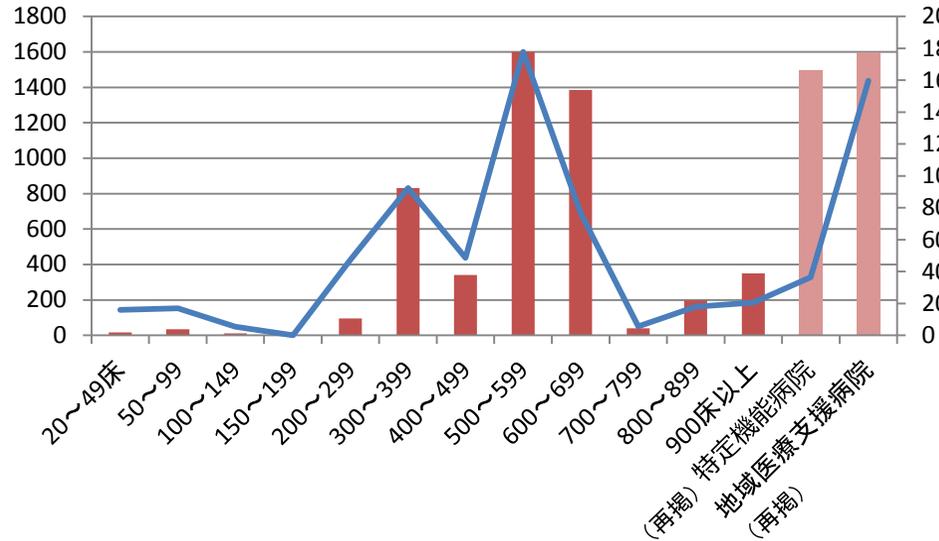
平成20年医療施設調査に基づき作成

# 一般病院における特殊診療設備による診療実績③

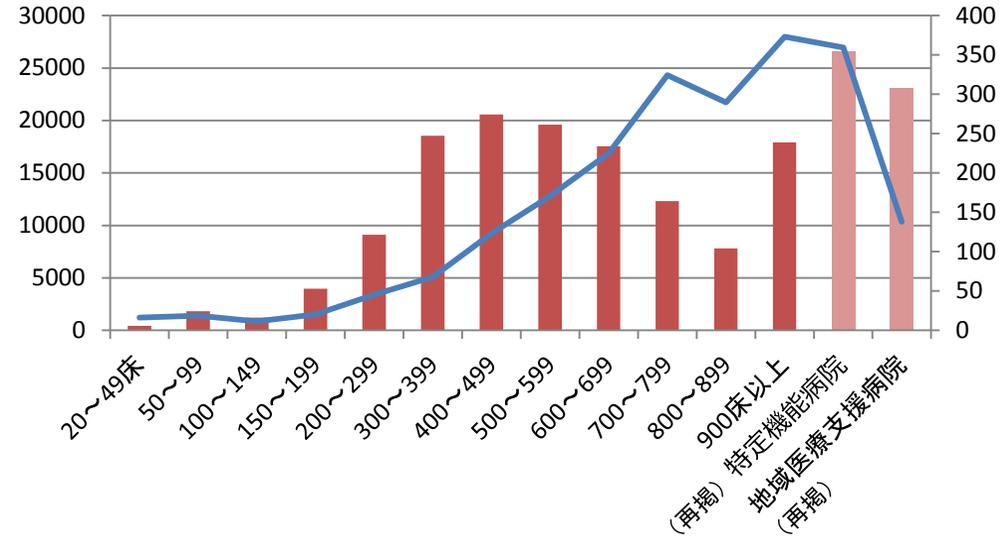
■ 区分ごとの患者延数    — 1施設当たり患者数

(単位:人)

## 放射線治療室



## 外来化学療法室



20~99床:3279病院 100~199床:2335病院 200~299床:795病院 300~399床:585病院 400~499床:294病院 500~599床:172病院  
 600~699床:106病院 700~799床:53病院 800~899床:32病院 900床以上~:63病院 特定機能病院:82病院 地域医療支援病院:228病院

※患者数は平成20年9月中の値。

平成20年医療施設調査に基づき作成